

前回審議事項に係る委員意見等一覧

| 番号 | 担当課 | 委員又は 専門委員名 | (素案) 章・頁・行 | 本文 | 意見(修正文案等) | 理由等 | 事務局の考え方等 |
|----|------------------------------|---------------|---|--|--|-------------------------------|---|
| 1 | 子ども生活 福祉部 子ども未来 政策課 | 嘉納 専門委員 | 第2章 76頁 29行 ～32行 第3章 392頁 36行 ～39行 第3章 395頁 30行 ～31行 | <p>また、内閣府の沖縄子供の貧困緊急対策事業費補助金を活用して、市町村においては子供の貧困対策支援員の配置や子供の居場所づくりに取り組み、県においては子供の貧困対策支援員への研修や、子供の居場所への学生ボランティア派遣、高校での居場所づくり支援等を行っている。</p> <p>子どもが安心して学習や生活ができる環境を整備するため、子供の居場所に対する大学生ボランティアの派遣や、居場所利用者に対するアンケート調査等により事業効果を分析し、調査結果の共有や好事例を紹介するなどして、市町村による子供の居場所づくりを支援した結果、</p> <p>居場所等の活動が充実するよう地域の社会福祉協議会等との連携を促進するなど、効果的な支援や環境づくりを行う必要がある。</p> | <p>子どもの学力向上と子どもの居場所関係等については、子供の貧困対策事業の一環で、コンソーシアムのほうで琉大に事務局を置いて、学生のボランティアを精力的に、離島も含めて展開しており、記載を検討できないか。</p> <p>また、沖国も宜野湾市と連携し、学内で学生が支援活動をしているため、併せて記載を検討できないか。</p> | 同左 | <p>【委員意見を踏まえ修正】 子供の居場所に対する学生ボランティアの派遣につきましては、76頁29行～32行及び392頁36～39行目に、記載しております。</p> <p>委員のご意見を踏まえ、395頁30～31行目に、次のとおり学生ボランティア活動について追記したいと思います。 「居場所等の活動が充実するよう地域の社会福祉協議会等との連携促進や学生ボランティア活動の活性化など、効果的な支援や環境づくりを行う必要がある。」</p> |
| 2 | 総務部 総務私学課 | 前津部会長 | 第3章 355頁 12行 | <p>貴重な歴史的資料である琉球政府文書等の適切な保存については、デジタル化を行い、インターネットで公開する取組を始めたことにより、これまで公文書館の利用が困難であった離島や遠隔地における資料の閲覧が可能となった。</p> <p>また、デジタル化の際に劣化の進んだ資料については、紙力強化等の修復措置を実施した。</p> <p>さらに、戦後の米国統治下(琉球政府時代)の資料として米国国立公文書館に所蔵されている沖縄に関する写真や動画を収集する取組を進めている。</p> | 公文書館について、どのぐらい利用されているのか等を追記して頂きたい。 | 公文書館が県民に利用されていることがわかるように記述を検討 | <p>【委員意見を踏まえ修正】 以下のとおり修正したいと考えております。</p> <p>貴重な歴史的資料である琉球政府文書等の適切な保存については、資料の劣化度に応じて紙力強化等の修復措置を施し、平成30年度末までに約9万6千冊のデジタル化を行い、約1万7千冊をインターネットで公開することにより、これまで公文書館の利用が困難であった離島や遠隔地においても資料の閲覧が可能となった。平成30年度はインターネット閲覧件数が2万4千アクセスであり、多くの県民等に利用されている。</p> <p>さらに、戦後の米国統治下(琉球政府時代)の資料として米国国立公文書館に所蔵されている沖縄に関する写真や動画を収集する取組を進めており、平成30年度までに約6千点を収集した。</p> |

前回審議事項に係る委員意見等一覧

資料1

部会 : 学術・人づくり部会

| 番号 | 担当課 | 委員又は 専門委員名 | (素案) 章・頁・行 | 本文 | 意見(修正文案等) | 理由等 | 事務局の考え方等 |
|----|---------|---------------|--------------------|---|---|------------|---|
| 3 | 義務教育課 | 仲村 専門委員 | - | - | 部活動に関連した学力向上の取り組みについて説明してほしい。 | 取り組みをPRすべき | 全国学力・学習状況差結果から、「学校の部活動に参加している」や「1時間以上2時間未満」との回答の生徒で、平均正答率が高い傾向となっております。 沖縄県学力向上推進本部会議では、「部活動(スポーツ少年団等の活動を含む)の充実と適正化」の項目の中で、「部活動を通して子供達の学習意欲、責任感、連帯感を育成するため、部活動等の加入率を高めるとともに活動の充実を図る。」ことと、「健全な心身の成長を促進するため、活動時間を適正化し、毎月第3日曜日の「家庭の日」に加え、小学校は平日2日以上と土・日曜日は少なくとも1日以上、中学校は平日少なくとも1日、土・日曜日は少なくとも1日以上を休養日に設定する。」ことが提言されました。 部活動は心身の調和のとれた発達と個性の伸長、社会性の育成等を図る上で、極めて重要な教育活動であること、学習指導要領に学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるようにすることが明記されております。 県教育委員会では、運動習慣の二極化解消や健全な心身の発達を促す観点から、部活動の充実と適正化を推進し、学力向上を図って参ります。 |
| 4 | 義務教育課 | 嘉納 専門委員 | - | - | 名桜大学内に設置されている北部教育研修センターについて記載できないか。 | - | 【原文のとおり】 北部教育研修センターは、北部広域市町村圏事務組合からの委託により名桜大学に設置され、教職員の職務能力の向上を図るよう諸研修事業を推進し、多大な貢献を頂いていることは承知しております。しかし、今回審議頂いている総点検報告書につきましては、県の取り組みを中心に記載しているため、現文のとおりとさせて頂きたいと考えております。北部教育研修センターの役割は非常に重要であり、北部広域市町村圏事務組合、名桜大学におきましては、今後とも地域の教育力の向上について御協力を頂きたいと考えております。 |
| 5 | 生涯学習振興課 | 島袋 専門委員 | 第3章 626頁 20行 | - | 「沖縄らしい個性を持った人づくり」の「沖縄らしい個性」とはどのように定義付けられているのか。明確化した方がよい。 | - | 委員の意見を踏まえ、次期計画にて検討して行きたいと考えております。 |
| 6 | 生涯学習振興課 | 宮城 専門委員 | 第3章 633頁 26行 | (課題及び対策) 生涯学習機会・体制の充実については、IT社会や国際化の進展など急激な社会変化の中にあつて、仕事や生活のあらゆる面において絶えず新しい知識や技術の習得が求められているほか、経済的なゆとりや余暇の増大等に伴い、趣味の充実や教養を高めるなど、自己実現や生きがいを学習活動等に求める傾向が強くなっていることから、学びたいときに自発的に学べる環境づくりが課題となっている。 | 「経済的なゆとりや余暇の増大等に伴い」という文言があるが、実態とかけ離れている。(経済的なゆとりがない人も多く、格差が広がっている)課題設定を誤ると、対策もずれてしまうのではないか。 | - | 【委員意見を踏まえ修正】 以下のとおり修正したいと考えております。 (課題及び対策) 生涯学習機会・体制の充実については、IT社会や国際化の進展など急激な社会変化の中にあつて、仕事や生活のあらゆる面において絶えず新しい知識や技術の習得が求められているほか、経済的なゆとりや余暇の増大等に伴い、趣味の充実や教養を高めるなど、自己実現や生きがいを学習活動等に求める傾向が強くなっていること等から、学びたいときに自発的に学べる環境づくりが課題となっている。 |
| 7 | 生涯学習振興課 | 翁長 専門委員 | 第3章 633頁 26行 | (上記宮城委員意見を受けて)国は働く人の学び直し(リカレント教育)を進めていこうとしているが、生涯学習に費やす時間や余暇が少ないことの方が課題ではないか。 | - | - | |